CS こひつじ科礼拝式次第

2023 年 2 月 19 日　午前 9 時 30 分

２０２３年度年間テーマ：「主イエスの教えに聞き従うものになろう」
テーマ曲：ワワワいっしょに（９２番）
暗唱聖句：「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」　マタイによる福音書６章３３節

８、せいなる（こどもさんびかをお用いください）

おいのり　礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしょ　マタイによる福音書 6 章 19 節～24 節

6:19 「あなたがたは地上に富を積んではならない。そこでは、虫が食ったり、さび付いたりするし、また、盗人が忍び込んで盗み出したりする。
6:20 富は、天に積みなさい。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。
6:21 あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。」
6:22 「体のともし火は目である。目が澄んでいれば、あなたの全身が明るいが、
6:23 濁っていれば、全身が暗い。だから、あなたの中にある光が消えれば、その暗さはどれほどであろう。」
6:24 「だれも、二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」

おはなしとおいのり　「天に富を積む」　杉山昌樹牧師

（上のリンクをクリックし再生ボタンをクリックすると音声が流れます。もし途中で止まるようでしたらファイルをダウンロードしてください）

皆さん、お元気ですか？杉山です。今日は、イエス様が山の上で、お弟子さんたちや大勢の人たちに教えてくれた言葉の一つです。何を一番大切にするのかというお話です。では聖書を読んでみましょう。

（けさの聖書箇所を読みましょう）

皆さん、さきほどもお話ししましたけれども、今日の聖書もイエス様が山の上で教えて下さった言葉の続きでした。その山の上での教えの最初の一言は、「幸いだ」でした。なんて幸いだ、なんて嬉しいんだろう、という言葉で始まっていました。何が嬉しいのかと言いますと「天の国」にいることです。今日の聖書でも「天」という言葉が出てきます。「富は天に積みなさい」（20 節）と書いてあります。では、この天とはどこのことでしょうか。ロケットに乗って宇宙の遠くまで行けば天につけるでしょうか。そうではないようです。むしろ、イエス様は、あの最初の「幸いだ」という言葉のところで、天の国はその人たちの物だ、というように言われました。それはイエス様の話を聞いている、一人一人の人、その人の所に天が来ている、神様がその人と一緒に居てくれるようになっている、という意味でした。神様の言葉、聖書の言葉を聞いている僕たち、わたしたちのところにも神様が一緒に居てくださっている、というこ

とですね。
では、「天に富を積む」とは何のことでしょうか。くどいようですけれども天は神様が一緒に居てくれることでした。そして富については 21 節にこう書いてあります。「あなたの富のあるところに、あなたの心もある」。富とは大切なもののことです。僕たち、わたしたちが「これは大切だ」と思っている人やコトやモノがいろいろあるでしょう。例えば、お父さん、お母さんとか、兄弟といった家族と話をすること、お菓子とか、おもちゃとか、服とか、です。嫌なことがあっても、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、弟や妹のことを思うと、心が温かくなる、ということがあります。ゲームをすると、夢中になっていやなことも忘れちゃう、ということがあるかもしれません。お気に入りの服を着れば、元気になるということもあるでしょう。でも、例えば、どれほどお気に入りの服でも、来年も、再来年も、その先もずっと着ることはできません。みんなは体が大きくなりますから、そもそも、着られなくなりますけれども、大人でも同じ服を着ていると段々服がダメになってきてしまいます。
でも、みんながどんな時でも、うれしい時でも、とってもつらい時でも、ずっと変わらないで、側にいてくれる方がいます。それが神様です。最初にお話ししたように、神様が一緒に居てくれるところが天の国でした。どんなときにも、みんなのことを見ていてくれる、慰めてくれる、その神様を忘れないで大切にすること、それが、天に富を積むことです。

祈り
父なる神さま、イエス様は、多くの人たちを教えて、神様と一緒に居る幸せを教えてくださいました。今この話を聞いているみんなにも、一人一人に神様が語り掛けてくださっていることを信じます。それぞれに天の国が来ています。どうぞ、わたしたちがこのように語りかけて下さる神様と一緒に居ることをますます信じて、またそれを喜んで、これからも大切にしていくことができますように。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

⁂　小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

９２、ワワワいっしょに（こどもさんびかをお用いください）